



**平成30年度
道守養成講座募集要項**

**道守補コース
特定道守コース**

申請書受付期間：平成30年6月1日(金)～平成30年6月20日(水)

受講者発表：平成30年7月10日(火)

長崎大学大学院工学研究科

目 次

◆平成 30 年度道守養成講座募集要項	(1)
1. 概要	
2. 申請について	
◆道守補コース	(5)
1. 募集内容	
2. 募集について	
3. 養成講座の受講	
4. 認定試験	
5. 資格認定証手続等	道守補コースのカリキュラムと開催時期
◆特定道守コース	(8)
1. 募集内容	
2. 募集について	
3. 養成講座の受講	
4. 認定試験	
5. 資格認定証手続等	特定道守コースのカリキュラムと開催時期
◆認定試験合格から資格認定証の発行まで	(1 1)
◆申請様式	(1 2)
・様式 1	受講申請書
・様式 2	履歴票
・様式 3	実務経歴書
・様式 4	受講推薦書
・様式 5	再試験申請書

平成30年度 道守養成講座募集要項

1. 概要

我が国の社会基盤構造物は経済成長とともに整備されてきました。これら構造物の老朽化が今後急速に進行する一方、整備・維持管理する行政と業界の人材は、少子高齢化に伴い不足しています。今後、安心・安全な暮らしを支えるため社会基盤構造物の長寿命化を国は進めており、これらのメンテナンスに関わる技術者の技術力の向上と育成が必要になっています。

長崎大学は、長崎県と連携して、長崎県の重要な社会資本である「道」の維持管理およびそれに関する技術の習得を目的とし、「道守」養成のための教育プログラムを開発しています。これは、文部科学省の科学技術戦略推進費《地域再生人材創出拠点の形成》に「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」（平成20年度～24年度）として採択され実施されたものです。プログラムには図-1に示すように、「道守補助員」、「道守補」、「特定道守」、「道守」の4コースがあります。

平成30年度は道守補コースと特定道守コースを開催いたします。

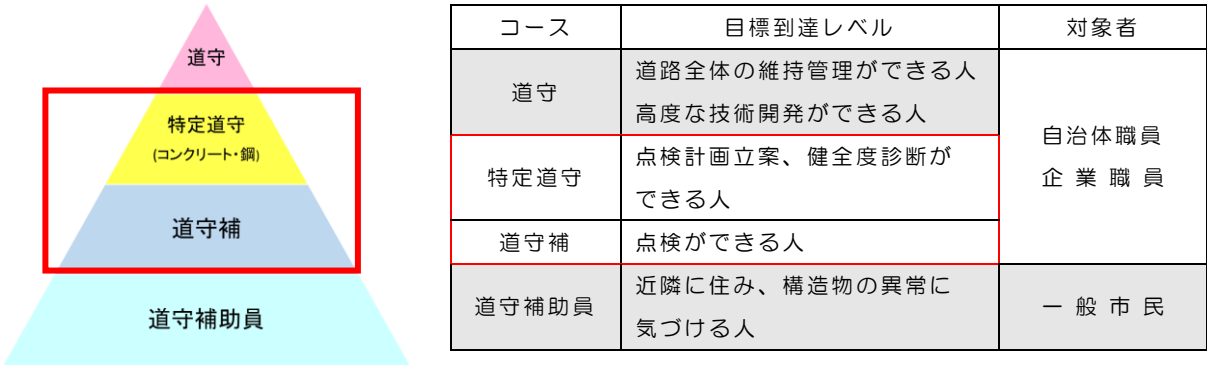


図-1 各コースの構成と目標到達レベル

講座は橋やトンネル等の道路関連施設等のインフラ構造物の維持管理に関する課題を題材とした講義と演習および実習を中心に進められます。講座終了後に認定試験を行います。

認定者は、整備・維持管理を考慮した新規設計や、既存の社会資本の維持管理・補修の計画および設計を習得し、地域の「道の町医者」として貢献する人材です。また、「長崎県の実施する道路施設点検（橋梁、斜面、トンネル等）への参加」、「道路の異常の有無の報告・通報」、「道路の清掃等のボランティアへの参加」「継続学習への取り組み」等の活動を通して、インフラ長寿命化に携わっています。

「道守補コース」「特定道守コース」および「道守コース」は、国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程（平成 26 年国土交通省告示第 1107 号）」に基づいて登録されています（表-1）。

表-1 登録された資格の対応一覧

	橋梁（鋼）		橋梁（コンクリート）		トンネル	
	点検	診断	点検	診断	点検	診断
道守補	○	—	○	—	○	—
特定道守 （鋼構造分野）	○	○	○	—	○	—
特定道守 （コンクリート構造分野）	○	—	○	○	○	—
道守	○	○	○	○	○	—

【資格の期限】

資格認定の有効期間は 4 年です。別に定める条件を満たした場合は、この期間を更新することができます。

2. 申請について

(1) 申請手続き

受講希望者は、所定の申請書に必要事項を記入し、下記の「道守養成講座事務局」へ送付してください。FAX およびメールでは受け付けておりません。

1) 申請書受付期間：平成 30 年 6 月 1 日（金）から 6 月 20 日（水）まで

※申請書類を持参する場合は、10 時～16 時まで受け付けます。

2) 申請書類等

以下の書類を、所定の期日までに提出してください。申請書は 12 ページ以降を利用、もしくは下記 URL からダウンロードしてください。

<http://michimori.net>

申請様式	様式 1	受講申請書
	様式 2	履歴書 ※「関係する資格」を記入の方は、資格証明(写)を添付ください。
	様式 3	実務経験書 ※①、②の 2 種類があります。記入しやすい方をご利用ください。
	様式 4	受講推薦書 ※ <u>同一企業内から複数名応募される場合は、優先順位を明記してください。</u>
	様式 5	再試験申請書

3) 申請書類提出先

送付先：〒852-8521
長崎市文教町 1-14
長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター内
「道守養成講座事務局」あて
TEL：095-819-2880 FAX：095-819-2879
E-mail：michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

(2) 申請上の留意事項

- 1) 申請書類を郵送する場合は「簡易書留」とし、封筒の表に「道守養成講座受講申込書在中」と朱書してください。(※6月20日必着)
- 2) 申請書類に不備があると受付けることができません。記載には十分ご注意ください。
- 3) 申請後の提出書類の内容変更は認めません。
- 4) 受理した申請書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- 5) 連絡先には確実に連絡の取れる E-Mail アドレスをご記入ください。
- 6) 申請書類に虚偽の記載があれば受講許可を取り消します。

(3) 受講者の選抜

審査委員会*は、提出書類を基に養成講座の受講者を選抜します。
受講者は地域、企業間のバランスおよび関係する資格（土木施工管理技士、RCCM等）を考慮して選抜することがあります。

審査委員会*：長崎大学内の道守の受講者選考、認定試験の実施および認定に係わる審査に関する事務を実施する委員会。

(4) 選抜結果の通知

受講許可書、受講料振込通知書および関係書類を本人宛に7月10日(火)に発送するとともに、メールで通知いたします。

(5) 受講料について

受講者は、受講料振込通知書に従って期間内に受講料の振込をお願いします。受講料を期限内に納めていない場合、受講許可を取り消します。既納の受講料は、いかなる理由があっても返還しませんのでご注意ください。

コース名	道守補助員	道守補	特定道守 (鋼構造分野/コンクリート構造分野)		道 守
			1 分野目	60,000 円	
受講料	無料	50,000 円	2 分野目	40,000 円	80,000 円
			2 分野 同時受講	100,000 円	

※受講料には、試験料と再試験料（1回）が入っています。

(6) 個人情報の取扱い

提出された申請書等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、インフラ長寿命化センターが責任を持って管理します。

受講資格審査終了後は、この個人情報を次のいずれかに該当する場合を除いて利用することはなく、第三者に開示することはありません。

- ①受講者について、受講手続きや受講するうえで必要な事務にデータを使用する場合。
- ②受講者選抜に係る統計・調査・分析のために使用する場合(ただし、この統計・調査・分析に従事する者は特定の者とし、公表する場合、個人識別ができない状態で行います。)

(7) その他

- 1)受講のための宿泊施設は用意しておりません。
- 2)本講座(道守補コース・特定道守コース)は、全国土木施工管理技士会 CPDS 対象です。

(8) 問い合わせ先

長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター内
「道守養成講座事務局」

TEL : 095-819-2880 FAX : 095-819-2879

E-Mail : michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

道 守 補 コ ー ス

1. 募集内容

講義、演習、実習等を組み合わせた総合コースを開講し、道路関連施設等のインフラ構造物の維持管理に係わる基礎知識と応用能力を教示します。

厳しい財政条件に対応したインフラ構造物の点検作業および維持管理業務等の地域に密着した業務に従事し、インフラ構造物の長寿命化に貢献できる人材の養成を行います。

2. 募集について

(1) 募集人員

25名程度

(2) 受講のための要件

自治体・建設業・建設コンサルタント業に従事されている土木技術者を主な対象とします。なお、上記を退職されたOBの方も含みます。

3. 養成講座の受講

(1) 実施時期

以下の期間において正味8日（36時間）開催され、受講者は全ての講義・演習・実習を受けます。その後、認定試験（1時間）を受験します。なお、各授業の具体的なスケジュール（シラバス）は、受講者が決定次第通知します。

平成30年9月6日（木）～平成30年9月28日（金）（予定）

※別表参照（7ページ）

(2) 実施場所

[講義]

長崎：長崎大学文教キャンパス（長崎市文教町）

[演習・実習]

長崎大学文教キャンパスおよび長崎市内

(3) 講座の概要

講義・演習・実習で構成され、講義の一部は講義の映像を視聴することもあります。

※別表参照（7ページ）

※有資格者（コンクリート診断士、コンクリート構造診断士、鋼構造診断士）

は一部授業科目が免除される場合があるのでお問い合わせください。

(4) 事前学習について

橋梁点検【導入編】（橋梁に関する初歩的な知識を一から学習します。）eラーニングで事前学習をしていただきます。eラーニング合格後、長崎大学での道守補講義を受講できます。

(5) 講座の出席要件

受講にあたっては、実施される講義・演習・実習に、全てに出席する必要があります。

あります。ただし、やむを得ないと考えられる理由がある場合のみ、事務局へ申請することにより補習講座等の措置を受けることができます。(講義のみ)

(6) 受講資格の停止

受講者が受講を継続することが適切でないと審査委員会が判断した場合には、受講者の受講を停止します。

4. 認定試験

(1) 受験資格

全ての講義・演習・実習を受講した受講者は、認定試験を受験することができます。

(2) 試験

道路インフラ構造物の調査・点検に係わる必要な知識や方策を確認する筆記試験(四者択一)。

(3) 試験日

平成30年10月22日(月) 13:30~14:40(予定)

(4) 試験会場

長崎大学 文教キャンパス

(5) 試験結果の発表

平成30年12月7日(金) (予定)

試験は厳正に採点し、合格者に対し合格通知書・修了証を発送するとともに、インフラ長寿命化センターのホームページに合格者の受講番号が掲載されます。

(6) 再試験について

不合格者については、次回1回試験を受けることができます。その場合、受験する年度の受講申請書受付期間内に、「様式5 再試験申請書」を送付、もしくは持参ください。

5. 資格認定証手続等

合格した方(コース修了者)は、次により資格認定証の交付手続を行ってください。詳細については平成31年2月上旬頃に別途通知します。

(1) 手続期間 平成31年2月5日(火)~2月25日(月)

(2) 交付手数料 2,000円(振込手数料は、修了者の負担となります。)

上記手続きを完了された方に、平成31年4月中旬頃資格認定証を発送いたします。資格認定証交付後、道守の活動を開始してください。

詳細は、「認定試験合格から資格認定証の交付まで(11ページ)」をご覧ください。

道守修了者は、資格認定後「道守養成ユニットの会」(認定者の会)に加入して、以下のような活動を継続しています。

●社会インフラの維持管理に関する情報の収集、提供、普及啓発、講習会・講演会・研修会・見学会等の開催

詳細は、資格認定証と一緒に同封いたしますので、ご確認ください。

別表 道守補コースのカリキュラムと開催時期

授業科目・時間数 (講義合計 36 時間+試験 1 時間)		講義形態	開催日
ガイダンス・レベル判定テスト	1	講 義	9 月 6 日(木)
構造物の防災と維持管理	1		
長崎県の道路構造物の現状	1		
道守の役割	1		
橋梁の維持管理の体系～点検を主として～	1	講 義	9 月 7 日(金)
斜面の基礎と点検要領	1		
舗装の基礎と点検要領	1		
トンネルの維持管理	1		
コンクリート橋の設計・施工技術・技術変遷	1	講 義	9 月 13 日(木)
コンクリート橋の変状と劣化	1		
コンクリート橋の点検	1		
コンクリート橋点検時の着目点	1		
鋼橋の設計・施工技術・技術変遷	1	講 義	9 月 14 日(金)
鋼橋の変状と劣化	1		
鋼橋の点検	1		
鋼橋点検時の着目点	1		
道守ポータル通報システム	1	講 義	9 月 20 日(木)
鋼構造物点検演習	4	演 習	
コンクリート構造物点検演習	4	演 習	9 月 21 日(金)
斜面・トンネル点検時の着目点と記録方法	1	講 義	9 月 27 日(木)
斜面の点検実習	5	実 習	
トンネルの点検実習			
コンクリート橋の点検実習	5	実 習	9 月 28 日(金)
鋼橋の点検実習			
認定試験 (四者択一)	1		10 月 22 日(月)

※内容・開催日については変更になる場合があります。

特 定 道 守 コ ー ス

1. 募集内容

講義、実験、演習等を組み合わせた総合コースを開講し、道路関連施設等のインフラ構造物の維持管理に係わる基礎知識と応用能力を教示します。

厳しい財政条件に対応したインフラ構造物の診断および維持管理業務等の地域に密着した業務に従事し、インフラ構造物の長寿命化に貢献できる人材の養成を行います。特定道守コースでは鋼構造分野・コンクリート構造分野の2分野を設定し、これらの診断ができる特定の分野できわめて高度な技術レベルを有する人材を養成します。

2. 募集について

(1) 募集人員

鋼構造分野 15名程度、コンクリート構造分野 20名程度

※両分野の受講を希望された場合、応募の状況によってはどちらか一方の分野のみを選考させていただく場合があります。

※各分野の応募人数が2名に満たない場合、開催を中止する場合があります。

(2) 受講のための資格・要件

以下の1)と2)の条件を両方満たす必要があります。

1) 道守補コースを修了している者

2) 一級・二級土木施工管理技士、技術士補、RCCMのいずれかの資格を有し、自治体・建設業・建設コンサルタント業に従事されている土木技術者を主な対象とします。なお、上記を退職されたOBの方も含みます。

3. 養成講座の受講

(1) 実施時期

1分野（鋼）受講は、正味9日（共通科目：17時間、専門科目：27時間）、1分野（コンクリート）受講は、は正味10日（共通科目：17時間、専門科目：36時間）、2分野同時受講は正味15日80時間（共通科目：17時間、専門科目：63時間）開催され、受講者は全ての講義・演習・実験を受ける必要があります。その後、認定試験（1分野（鋼）：180分、1分野（コンクリート）：270分、2分野同時受講：440分）を受験します。なお、各授業の具体的なスケジュール（シラバス）は、受講者が決定次第通知します。

平成30年10月18日（木）～平成30年11月30日（金）（予定）

※別表参照（10ページ）

(2) 実施場所

長崎大学 文教キャンパス

(3) 講座の概要

講義・実験・演習で構成され、講義の一部は講義の映像を視聴することもあります。

※有資格者（コンクリート診断士、コンクリート構造診断士、鋼構造診断士）は一部授業科目が免除される場合があるのでお問い合わせください。

(4) 講座の出席要件

受講にあたっては、実施される講義・演習・実験に、全てに出席する必要があります。ただし、やむを得ないと考えられる理由がある場合のみ、事務局へ申請することにより補習講座等の措置を受けることができます。（講義のみ）

(6) 受講資格の停止

受講者が受講を継続することが適切でないとして審査委員会が判断した場合には、受講者の受講を停止します。

4. 認定試験

(1) 受験資格

全ての講義・演習・実験を受講した受講者は、認定試験を受験することができます。

(2) 試験

道路インフラ構造物の調査・診断・補修に係わる必要な知識や方策を確認する筆記試験。（四者択一、用語説明、論文形式問題）

(3) 試験日 平成30年12月17日（月）（予定）

(4) 試験会場 長崎大学 文教キャンパス

(5) 試験結果の発表 平成31年2月4日（月）（予定）

試験は厳正に採点し、合格者に対し合格通知書・修了証を発送するとともに、インフラ長寿命化センターのホームページに受講番号が掲載されます。

(6) 再試験について

不合格者については、次回1回試験を受けることができます。その場合、受験する年度の受講申請書受付期間内に、「様式5 再試験申請書」を送付、もしくは持参ください。

5. 資格認定証手続等

合格した方（コース修了者）は、次により資格認定証の交付手続を行ってください。詳細については、合格通知書・修了証と一緒に通知します。

(1) 手続期間 平成31年2月5日（火）～2月25日（月）

(2) 交付手数料 2,000円（振込手数料は、修了者の負担となります。）

上記手続を完了された方に、平成31年4月中旬頃資格認定証を交付いたします。資格認定証交付後、道守の活動を開始してください。

詳細は、「認定試験合格から資格認定証の交付まで（11ページ）」をご覧ください。

道守修了者は、資格認定後「道守養成ユニットの会」（認定者の会）に加入して、以下のような活動を継続しています。

●社会インフラの維持管理に関する情報の収集、提供、普及啓発、講習会・講演会・研修会・見学会等の開催

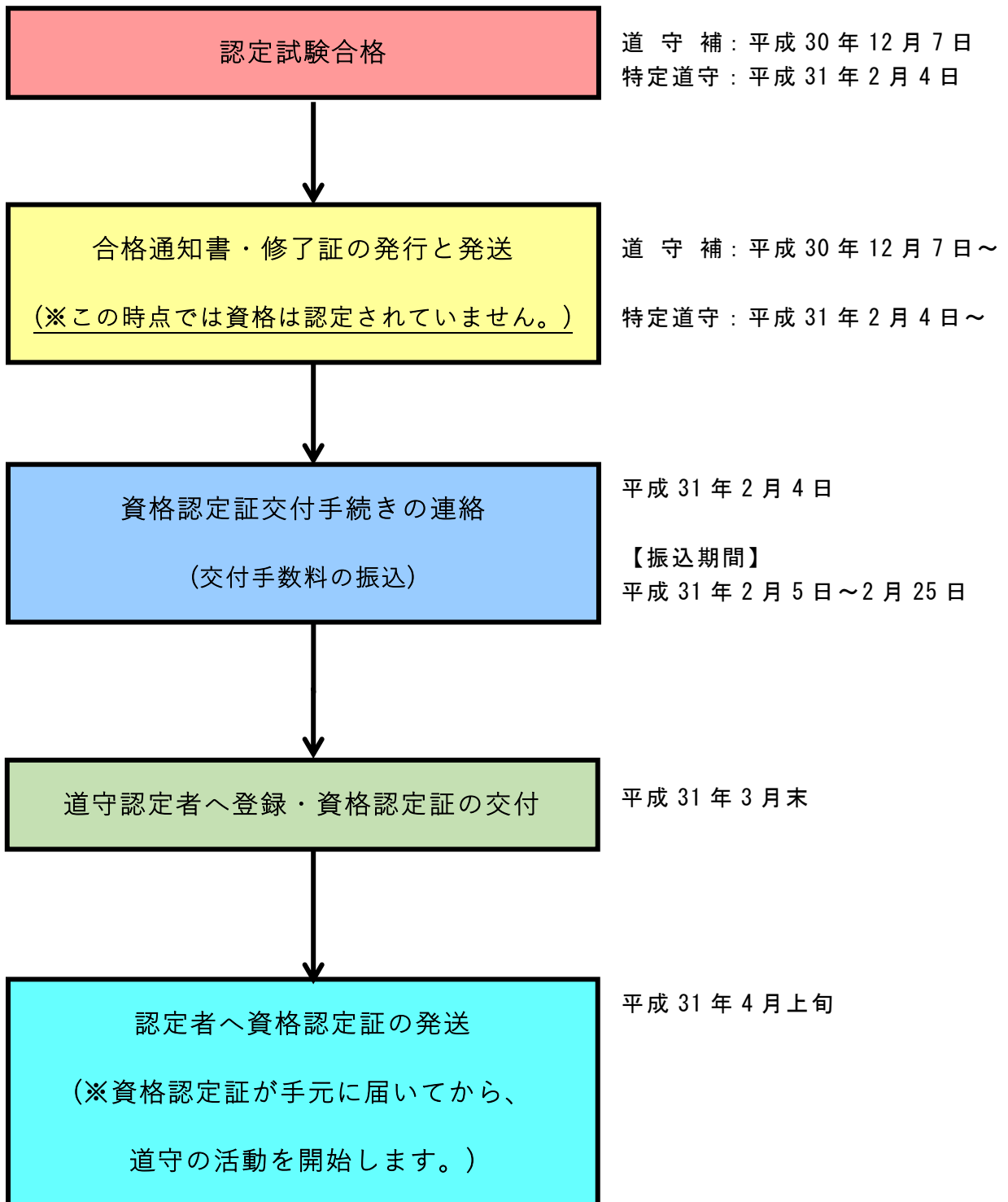
詳細は資格認定証と一緒に同封してありますので、ご確認ください。

別表 特定道守コースのカリキュラムと開催時期

授業科目・時間数		開催日		講義形態	1分野受講		2分野受講 80時間
					鋼 44時間	コン 53時間	
共通講座	技術者倫理と安全工学	1	10月18日 (木) 10月19日 (金) 10月25日 (木) 10月26日 (金)	講義 一部DVD	○	○	○
	環境工学	1					
	騒音・振動	1					
	構造物と化学	2					
	構造物の計測モニタリング	2					
	情報処理	2					
	橋梁の維持管理の体系 ～診断を主として～	1					
	舗装の維持管理	1					
	斜面の維持管理	2					
	アセットマネジメント概論	1					
	橋梁下部工の施工	1					
	橋梁附属施設の施工	1					
専門講座	コンクリート構造 材料、材料実験／調査・診断、 補修・補強／計画・設計・施工	18	11月1日 ～11月20日 火・木曜日開 催	講義 実験 演習	-	○	○
	トンネルの診断・対策	4		講義		○	○
	鋼構造 材料、材料実験／調査・診断、 補修・補強／計画・設計・施工	20	11月2日 ～11月21日 水・金曜日 開催	講義 実験 演習	○	-	○
	プロジェクト演習 鋼橋・コンクリート橋・トンネル	各 7	11月22日 (木)	演習	-	○	○
			11月29日 (木)		○	-	○
			11月30日 (金)		-	○	○
認定試験 (12月17日(月))	四者択一	※2分野受講者は、			30分	30分	60分
	用語説明	鋼・コンを同時に行う。			60分	60分	110分
	論文形式 問題	※2分野受講者は、 鋼とコンを別々に行う。			90分	180分	鋼:90分 コン:180分
	試験時間合計				180分	270分	440分

※ 内容・開催日については変更になる場合があります。

資格認定試験合格から資格認定証の交付まで



※合格しても、交付手数料が未納ですと資格認定証は発行できませんのでご注意ください。

(様式1)
長崎大学 学長
河野 茂 殿

受講申請書

平成30年度

道守養成講座の以下のコースの受講を申し込みます。

	道守補コース
--	--------

	特定道守コース（鋼構造分野）
	特定道守コース（コンクリート構造分野）

2分野受講希望の場合

1	特定道守コース（鋼構造分野）
2	
1	特定道守コース（コンクリート構造分野）
2	

※該当箇所に○印をつけてください。

※特定道守コースについて複数分野を希望される場合、応募の状況によっては一方の分野のみの選考とさせていただきますので第1希望か第2希望がわかるようにしてください。

氏名	
----	--

申請日： 年 月 日

(様式2)

履 歴 票

ふりがな			西暦	年	月	日
氏 名			生年月日	(満 才)		
勤務先						
勤務先 所在地	〒 TEL : E-Mail :					
現住所	〒 TEL : E-Mail :					
学 歴 (高校以降)	学校・学部名	学科名	在学期間 (修業年限)	卒業又は修了の 別		
			年 月 ~ 年 月	卒 業 修 了		
			年 月 ~ 年 月	卒 業 修 了		
			年 月 ~ 年 月	卒 業 修 了		
関係する 資 格 (※資格証明 の写しを 添付する)	名 称	資格受けた年月日	番 号			
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
受講履歴	有 ・ 無 証明書番号 :					
特記事項	※希望連絡先：現住所・勤務先（いずれかに○をつけてください。）					

(様式3)

実務経歴書 ①

発注者	工事件名	工事金額 (千円)	工期	従事した 役職	工事内容
			年 月 ～ 年 月	監理監督 現場代理人 主任技術者 技能者	

(様式3)

実務経歴書②

工事件名	工期	工事種別	従事した立場	工事内容

(様式4)

受講推薦書

長崎大学 学長
河野 茂 殿

受講申請者.....を、長崎大学で開講される平成30年度道守養成講座
.....コースの受講者として推薦します。

なお、本受講申請者の当社（団体）からの推薦順位は.....位です。

選考の参考のために、貴企業又は団体の全従業員数と土木技術者数をご記入ください。

全従業員数.....人、土木技術者数.....人

平成 年 月 日

(推薦者)

企業又は団体名.....

職名・氏名.....⑩

(様式5)

長崎大学 学長

河野 茂 殿

再 試 験 申 請 書

平成 30 年度

道守養成講座の以下のコースの再試験を申し込みます。

	道守補コース
--	--------

	特定道守コース（鋼構造分野）
	特定道守コース（コンクリート構造分野）

※特定道守コース：2分野の再試験を申請する場合は2箇所にも○印をつけてください。

氏 名	
-----	--

申請日： 年 月 日